

地域のさまざまな課題を共有 令和7年度「知事と県民の意見交換会」

7月6日、カダーレで鈴木知事と県民の意見交換会が行われました。本市からは、ジオパーク事務局から大野希一さんとカトリナ・キリンジャーさん、(株)東北高倍家 99 glamの庄司浩輔さん、FUSION DESIGN TO代表の石井智代さんの4人が参加。観光やジオパーク、地域活性化に取り組む日々の活動内容を発表しながら鈴木知事と意見交換をしました。



▲意見交換はプラネタリウムを投影しながら行われました

幅広い世代の交流の場として にかほSTREETフードFES

6月29日、TDK株式会社の企業寮TSUGUBAにて「にかほSTREETフードFES」が行われました。地域の食や文化の発信、幅広い世代の市民交流ができる場を創出することを目的とし地元有志主催により開催された当イベント。当日はたくさんのキッチンカーが出店したほかハンドメイド雑貨の販売やこども縁日の開催もあり、会場は大盛況でした。



▲たくさんの人でにぎわうTSUGUBA内

いちじくをもっと身近にもっと気軽に いちじく小学校

誰もがいちじくを育てられることを目指して始まった「いちじく小学校」が今年度も開校しました。6月22日開催の1時間目では、芽かき（剪定）とカミキリムシの駆除について学び、2時間目以降は料理教室や収穫体験を予定しています。皆さんもいちじくを育ててみませんか。詳しくは農林水産課（☎38-4303）までお問い合わせください。



▲剪定方法を熱心に学ぶ参加者

励ましあいながら雪溪を登る 仁賀保高校全校鳥海登山

6月20日、仁賀保高校の全校鳥海登山が行われました。心身を鍛え、郷土の山に親しむことを目的に行われる恒例行事。今年は好天に恵まれ、熱中症に気を付けながら103人の生徒がゴールの7合目御浜を目指しました。道中、雪解けの進む雪溪に苦戦しながらも、仲間と手を取り助け合いながら山を登る生徒の姿が見られました。



▲皆で励ましあいながら登りました

仁賀保高校の新たな強みとして 仁賀保高校に学習センターオープン

7月8日、仁賀保高校に「にかほ市学習センター」がオープンしました。5月のプレオープン後、徐々に利用する生徒は増えていて、当日も複数の生徒がセンターのスタッフに分からないところを聞きながら熱心に勉強する様子が見られました。今後、生徒の学習習慣の定着と進路実現をサポートする場としての活用が大いに期待されます。



▲熱心に勉強する仁賀保高校生たち

きれいな砂浜で海水浴を ビーチクリーンキャラバン

7月8日、象潟海水浴場で県内のホンダ販売会社11社からなる県ホンダ会主催によるビーチクリーンキャラバンが行われました。夏の日差しが照りつけるなか、ホンダ従業員や地域住民、ゆり支援学校の生徒など約270人がごみ拾いに参加。ふるいを使い細かいプラスチックごみもかき集め、ビーチクリーナーも出動し約590kgのごみを回収しました。



▲波打ち際のごみ拾いを行うホンダ従業員の皆さん

象潟で熱戦を繰り広げる 全日本バレーボール小学生大会秋田県大会

6月28日と29日、象潟体育館および象潟中学校体育館にて第45回全日本バレーボール小学生大会秋田県大会が開催されました。13年ぶりににかほ市で行われた本大会。全県から男子、女子、男女混合の総勢33チーム、約500人の選手が集結し熱戦を繰り広げました。各カテゴリで優勝した3チームは8月に東京で行われる全国大会に出場します。



▲果敢に攻撃する平沢バレーボールスポーツ少年団の選手

防災への協力体制の強化を 「災害時の協力に関する協定」変更締結式

6月25日、象潟庁舎で本市と東北電力ネットワーク株式会社との「災害時の協力に関する協定」変更締結式が行われました。平成24年に締結した協定を一部変更し、「停電等の未然防止に向け、倒木被害の可能性がある樹木の事前伐採について、両者が連携して実施する」ことが追加され、防災に関する協力体制の強化を図るものです。



▲協定書を持つ本荘電力センター猿田所長(左)と市川市長